

個別事業説明書【PR版】

中予地方局



1 戦略的有望花き生産技術等確立事業費（中予）

令和8年度当初予算（案）
予算額 2,556千円

ユーカリの安定生産技術を確立し、市場開拓を進める中、流通関係者からは、端境期を補完する周年供給への強い要望があることから、類似する新規品目の導入による切れ目のない供給体制を早期に構築し、市場での優位性を高めることにより、中予地域の産地力強化を目指す。

お問い合わせ先
中予地方局農林水産振興部
農業振興課
(089-909-8761)

指標

施策

17 農林水産業の生産振興

KGI

農業産出額

現状値

1,337億円（R6年）

目標値

1,200億円（R8年）

細施策

17-4 農業の生産振興

KGI

主な農産物の生産量（各振興計画に記載のある主要品目）

現状値

314千t（R6年度）

目標値

338千t（R8年度）

事業イメージ

KPI

新規品目の導入数
（ユーカリの端境期（4～8月）をリレー出荷で補完できる
有望花きの導入を目指す）

現状値

－

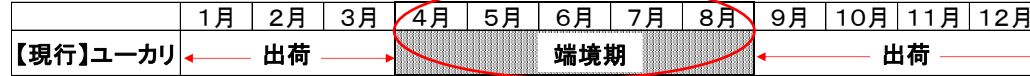
目標値

5品目（R10年度）

花き生産の現状

- ▶中予地域では、ユーカリの安定生産技術の確立と市場への安定供給により、生産者の所得向上が実現
- ▶一方、流通関係者からは、**端境期（4月～8月）を補完する新たな品目**の生産が強く求められている

ユーカリの出荷期間



【有望な新規品目候補】



ロシアンオリーブ



ドドンナエア



コバノスイナ



ヒュウガミズキ



シロヤマブキ

目指す姿

端境期を補完した
周年供給体制づくり



課題①

夏季出荷に対応する
新規品目の選定と技
術確立が必要



課題②

温暖化への対応が
必要

サブスク



課題③

新たな販売形態への
対応が必要

ECサイト



対策

新規品目の早期導入

- ・新規品目の選定
- ・栽培技術の確立
- ・被覆資材の選定

中予地方局
が総合的に
支援

販売対策

- ・消費者等ニーズの
把握
- ・販売形態に対応し
た出荷規格の設定

○花き市場での
優位性確立
○更なる産地強化

事業概要

1 花き生産体制の整備

218千円

関係機関による中予地域花き生産対策協議会（仮称）を設置し、生産現場の課題等の共有及び新規品目導入に向けた検討・協議（年2回（5・2月）予定）を行う。

- ・構成機関：中予地方局、農林水産研究所、松山市、東温市、関係JA
- ・検討内容：新規品目の選定、技術対策の検討、市場評価の検証等

2 新規品目の実証

1,975千円

新規品目の現地適応性の把握や栽培技術の確立、夏季の高温対策など、高品質安定生産技術の確立に向けた技術実証に取り組む。

※2年目以降は、実証結果及び市場関係者の意見を踏まえ品目を追加・選抜

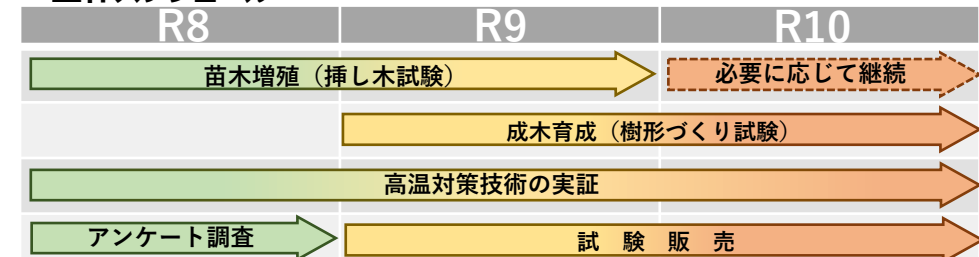
- （1）栽培技術の確立（実証ほの設置）
生育調査、幼木からの樹形づくり試験、病害虫発生調査
- （2）苗木増殖技術の確立：挿し木試験による増殖技術の確立
- （3）高温対策技術の確立：夏季栽培に最適な被覆資材の比較検証

3 多様なニーズに対応した出荷体制の構築

363千円

- （1）市場調査（関東：大田花き市場等、関西：なにわ花いちば等）
- （2）消費者へのアンケート調査

＜全体スケジュール＞



○出荷体制構築
○技術の確立

新規5品目の導入